

報道関係各位

大丸有 SDGs ACT5 実行委員会
三菱地所株式会社

大手町・丸の内・有楽町エリアを起点にサステナブルなアクションを 企業連携による「大丸有 SDGs ACT5」を 2023 年度も開催

4年目となる今年度も試食付きセミナー「SUSTABLE（サステイブル）」や
「大丸有 SDGs 映画祭 2023」等様々な企画を実施

三菱地所株式会社、農林中央金庫、株式会社日本経済新聞社、株式会社日経 BP 等で構成される大丸有 SDGs ACT5 実行委員会は、今年度も5月8日より約7ヵ月間にわたり、「大丸有 SDGs ACT5」を実施いたします。「大丸有 SDGs ACT5」は、就業者約 28 万人、約 4,300 事業所が集う大手町・丸の内・有楽町エリア（以下、「大丸有エリア」）を起点に、企業や団体の枠を超えてまちぐるみで SDGs 活動を推進するプロジェクトです。

昨年度は、5月から約7ヵ月間のコア期間中に63件のアクションを展開、大丸有エリア内外の企業・団体約84社とのパートナーシップを結成し、延べ16,000名以上に参加いただきました。

(2022年度アクションレポート：<https://act-5.jp/wp-content/uploads/2023/03/report2022.pdf>)

4年目となる2023年度は、「サステナブルフード」「環境」「ひとと社会のWELL」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」という5つのACT（テーマ）のもと、大丸有エリア内外の企業等との連携をさらに拡大し、SDGs達成に向けた様々なアクションを展開します。

また、大丸有エリア内で行われる個人のSDGsアクションに「ACT5メンバーポイント」を付与するアプリを、今年度も提供します。ポイントを獲得できる活動や拠点を拡大し、さらに今年度から記事コンテンツを追加いたします。



▲昨年度の大丸有 SDGs 映画祭の様子



▲ポイントアプリの3つの特徴

<大丸有 SDGs ACT5 とは>

大丸有エリアに拠点を置く企業が集まり、SDGs の目標期限である 2030 年の 10 年前にあたる 2020 年 5 月に発足しました。大丸有エリアを軸に、企業が主体となって取り組むことで、企業間連携による SDGs 活動の相乗効果を検証し、長期的に実現可能な SDGs モデル都市の構築を目指します。「サステナブルフード」「環境」「ひとと社会の WELL」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」の 5 つの ACT (テーマ) を設定し、各アクションの実践、効果の検証、社会課題の構造的な問題を明らかにすることをミッションとしています。

大丸有 SDGs ACT5 公式サイト : <https://act-5.jp/>



<2023 年の取り組み> 予定

■ ACT1 (サステナブルフード) : 未来の食卓を変える「SUSTABLE (サステイブル) 」

持続可能性に配慮された食材 (サステナブルフード) の普及を目指して 2021 年度に始動した試食付きセミナー「SUSTABLE」を今年度も 7 月頃から開催します。「作り手」である生産者やメーカー、「使い手」であるシェフ、そして「食べ手」である消費者が集い、食にまつわる社会課題や解決策について考えることで、その先のアクションを生み出すことを目的としています。



■ ACT2 (環境) : 古着回収企画

大丸有エリアを中心に回収 BOX を設置し、来街者、就業者の方々から家庭で不要になった衣類を回収する古着回収企画を今年度も実施します。昨年度は 13 カ所に BOX を設置し、延べ約 2,500 名から提供された衣類の総重量は約 1,350 kgとなりました。また、リユース活用を優先し、焼却処分をする場合と比べて約 1,000 キロの CO₂ 排出を削減することが出来ました。今年度は新たな取り組みとして、回収した衣類の一部を再資源化してスポーツ用のピブスを制作し、パラスポーツ団体へ寄付する予定です。



■ ACT3 (ひとと社会の WELL) : プロギング

ジョギングをしながらまちのごみを拾う北欧発の新しいスポーツ「プロギング」を、5 月から 11 月にかけて 6 回開催します。エリア企業の就業者同士のコミュニケーションの機会を創出しやすい平日の夕方と、エリア就業者が家族や知人等と参加しやすい夏休み期間中の開催を併用する事で、多様な方々がまちを訪問する機会を創出します。



■ ACT4 (ダイバーシティ&インクルージョン) : レインボーイベント、街歩きユニバーサルマナー研修

大丸有エリアが、「心のバリアフリーが溢れる街」となることを目指し、D&I (ダイバーシティ&インクルージョン) を一歩先に進めた、誰もが楽しみながら未来の多様性について考える機会と場を提供します。6 月には、プライド月間に合わせて複数企業と連携した啓発イベントを開催し、7 月には、ユニバーサルマナーのマインドとアクションの実践を学ぶ「街歩きユニバーサルマナー研修」を開催します。



■ ACT5 (コミュニケーション) : 大丸有 SDGs 映画祭 2023

大丸有エリアのイベントスペースやインキュベーションオフィス等をミニシアターに仕立て、まちをあげての映画祭を開催しています。サステナビリティへ関心がなかった人にも映画というツールを活用して、社会課題について触れ、学び、考える機会を提供することを目的としています。昨年度は「難民」や「食」「D&I」等をテーマにした映画を全 10 作品上映し、約 700 名にご参加いただきました。今年度も 9 月頃に映画祭を開催します。



▲ 2022 年度の上映作品

■「ACT5 メンバーポイントアプリ」について

アプリを用いて個人の SDGs 活動にポイントを付与する仕組み。マイボトルやエコバックの持参、古くなった衣類の回収協力や SDGs 関連イベントへの出席など SDGs 貢献活動に参加することでポイントを獲得でき、さらに貯まったポイントを、サステナビリティに配慮された商品との交換、SDGs 貢献団体への寄付などに利用できます。

個人の WELL-BEING の促進を目指し、1 日 8,000 歩を達成するとポイントが獲得でき、同じポイント数が SDGs 貢献団体へ寄付される「チャリティーウォーキング」機能を今年度も継続いたします。

今年度は日本最大級の ESG・サステナビリティ特化型メディア『ESG Journal』と連携し、ESG・サステナビリティ関連の最新情報をアプリ上のお知らせ機能より定期配信し、一定期間内に記事を読んだ方にはもちろんポイントを付与する仕組みを新たに導入いたします。日常的にサステナブルな情報に触れ、知識を得ていただくことで、個人の意識・行動変容を継続的に促し、エリア内外での SDGs アクション誘発を加速させ、次の SDGs アクションを生む好循環の構築を目指します。

<大丸有 SDGs ACT5 開催概要>

- 主 催 大丸有 SDGs ACT5 実行委員会
- 時 期 2023 年 5 月 8 日（月）～11 月 30 日（木）（予定）
- 場 所 大丸有エリア各所（店舗やビル専有部・共用部、道路空間を含めたパブリックスペース、各取り組みの協働先、連携先の地域等を活用）
- 内 容
 - ・2030 年の SDGs 達成に向け、大丸有 SDGs ACT5 実行委員会として取り上げるべき関連テーマを 5 つ設定し、それに沿った諸活動を、大丸有エリアを起点として地域等とも連携して実施する。
 - ・エリアマネジメントの一環として、エリア内外の企業や団体の協力のもと、まちをメディアとして捉え、様々な社会課題について発信・啓発を行うと共に、来街者・事業者の SDGs 活動を拡大・促進する。
- ※具体的なアクションやイベントについては詳細が決定次第、お知らせします。
- 実行委員会構成企業 三菱地所（委員長）、農林中央金庫（副委員長）、日本経済新聞社（副委員長）、日経BP、大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、大丸有エリアマネジメント協会、大丸有環境共生型まちづくり推進協会、丸の内熱供給、三菱総合研究所、東京国際フォーラム
- 後 援 国連広報センター
- 公式サイト <https://act-5.jp/>

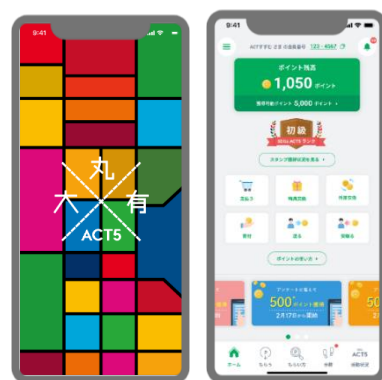
<「ACT5 メンバーポイント」について>

- 参加方法 スマートフォンアプリ「ACT5 メンバーポイントアプリ」をダウンロードし、登録
- ダウンロード方法 App Store および Google Play からアプリ名を検索、または以下よりアクセス

※App Store は Apple Inc.の商標です。
Google Play は Google LLC の商標です。

App Store 用 QR コード

Google Play 用 QR コード



▲ポイントアプリ画面イメージ

- アプリポイント付与期間 2023 年 5 月 8 日（月）～11 月 30 日（木）
（ポイント利用期限は、12 月 15 日（金）までを予定）
- 本年度追加した新機能 サステナビリティ記事の配信：週数回、サステナビリティに関する最新情報の記事をアプリで配信し、記事を読んだ方にポイントを付与する仕組み。

■ 概要図

